

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 8 年 2 月 19 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	予防医療の充実で市民の命と健康を守る取り組みを！
質問要旨	少子高齢化の進展で医療や介護といった社会保険料の負担が重くのしかかっている。公明党は社会保険料を抑制する取り組みとして、病気の発症・重症化を防ぎ、一人一人が健康を維持・増進する予防医療の充実に尽力してきた。代表的なものが、胃がん予防のためのピロリ菌除菌への保険適用である。予防医療の一層の充実により、結果として医療費や介護費の増大が抑えられ、保険料負担の軽減にも繋がるよう取り組んでいきたいとの思いから2つの項目より質問、提案する。 令和6年 9 月13日高齢社会対策大綱が改訂され「加齢による難聴者等への対応」が追加されたことで、ヒアリングフレイル(加齢による聴覚機能の衰えが心身の活力を弱めてしまう状態、耳の虚弱)の早期発見の検討や実施に取り組む自治体が増加している。 乳がんは日本人の女性がもっとも罹患するがんで、9 人に 1 人と言われているが早期発見であれば、生存率は90%以上に達する。しかしながら、検診受診率は、欧米諸国の70%と比べ、40%台と大変に低い、受診率の低さから、早期発見が遅れ、先進国の中でも死亡率が年々増加している。予防医療の考えが進んでいないことや検診制度の情報が届いていないことなどが原因と言われている。そこで以下質問する。
質問項目①	加齢による難聴者への対応として、本市における取り組みはどのようなものか。
質問項目②	聴力検査アプリ「みんなの聴脳力チェック」を使用し、早期発見に繋げてはどうか。例：犬山市・春日井市・豊中市等
質問項目③	本市におけるこれまでの乳がん検診受診率及び受診率向上に向けた取り組みはどのようなか。

質問項目④	乳がん検診のマンモグラフィー検査は個人によっては圧迫による痛みを感じやすい方や恥かしさを避けて検診を躊躇する方がいる。昨今市民病院等「無痛 MRI 乳がん検診」機器の導入、検査費用の助成を開始した自治体がある。本市における導入の見解を伺う。例：海津市・彦根市
質問項目⑤	JMS（ジャパン・マンモグラフィー・サンデー）は子育て、介護、仕事など多忙な平日を過ごす女性のため、ピンクリボン月間である10月の第3日曜日をマンモグラフィー乳がん検診の日として受診率向上に取り組んでいる。本市においても、参加、実施できないか。例：市立恵那病院・市立美濃病院など全国
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・市民福祉部長・子ども健康部長